

2006年5月22日



第8期(2006年3月期) 決算のご説明

フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
(大証ヘラクレス,証券コード8462)

この資料での数値は、特に指定がない限りすべて2006年3月31日現在です。

1.	フューチャーベンチャーキャピタルについて	P	3
	FVCの理念と特徴		
	FVCの投資の傾向		
	FVCの地方展開		
	地方での案件発掘体制		
	FVCの目利き・ハンズオンの特徴		
2.	第8期(2006年3月期)活動報告	P	8
	第8期(2006年3月期)決算		
	売上高の内訳・前年比較		
	キャピタルゲイン/ロスと成功報酬		
	キャピタルゲイン/ロス・投資損失引当金の詳細		
	投資損失引当金の推移		
	ファンド総額の推移		
	第8期に増額・新設したファンド		
	投資金額・社数の推移		
3.	今後の活動方針	P	16
	経営戦略		
	終わりに		
・	【参考資料】	P	18
	直近5ヵ年の業績推移		
	会社概要		

FVCの理念と特徴



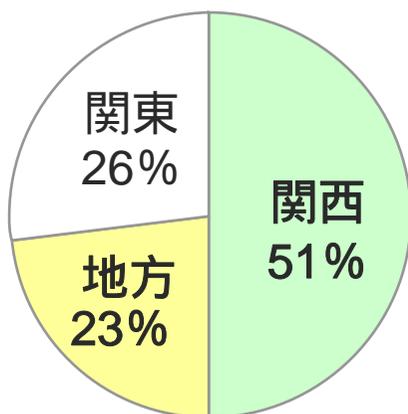
創業理念 企業家の夢の実現を応援する

- 上場VC中唯一の個人創業独立系VC
ベンチャー企業の経営者に近い立場で
投資育成活動を行うことができる
- 京都に本社を置き、積極的な地方展開
地元に拠点を置き、徹底した現場主義を実現
- スタートアップ、アーリーステージの企業に重点
を置いた投資
ハンズオンを通じて高いリターンを狙う

FVCの投資の傾向

地域

《地域別分類》



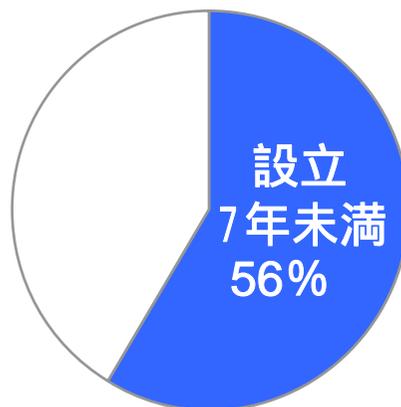
関西・・・京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良
 地方・・・三重、石川、岩手、愛媛、山形、その他
 関東・・・東京、茨城、神奈川、群馬、千葉

各地域における投資残高をもとに算出

地方での
重点的な投資

ステージ

《設立年別分類》

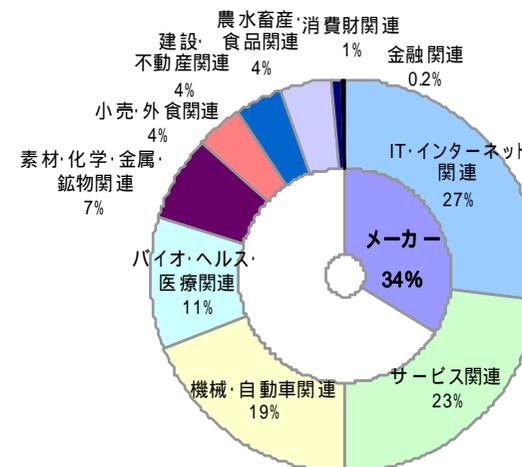


初回投資時点の設立後経過年数
 設立年別における投資残高をもとに算出

アーリーステージ
中心の投資

業種

《業種別分類》



VEC調査によると、日本のVC全体では、メーカーへの投資比率は17%ほどと推測される

ものづくり企業
重視の投資

FVCの地方展開

■ 積極的な地方展開による幅広いネットワーク

地域振興の行政ニーズがある地域へ進出
FVCが事務所を設置

■ 地域プラットフォームの活用・・・国内VCとの差別化

自治体・地元企業・FVCなどによる
地域全員参加型の投資育成活動を展開
案件発掘の深堀が可能となり、独自案件が入手できる

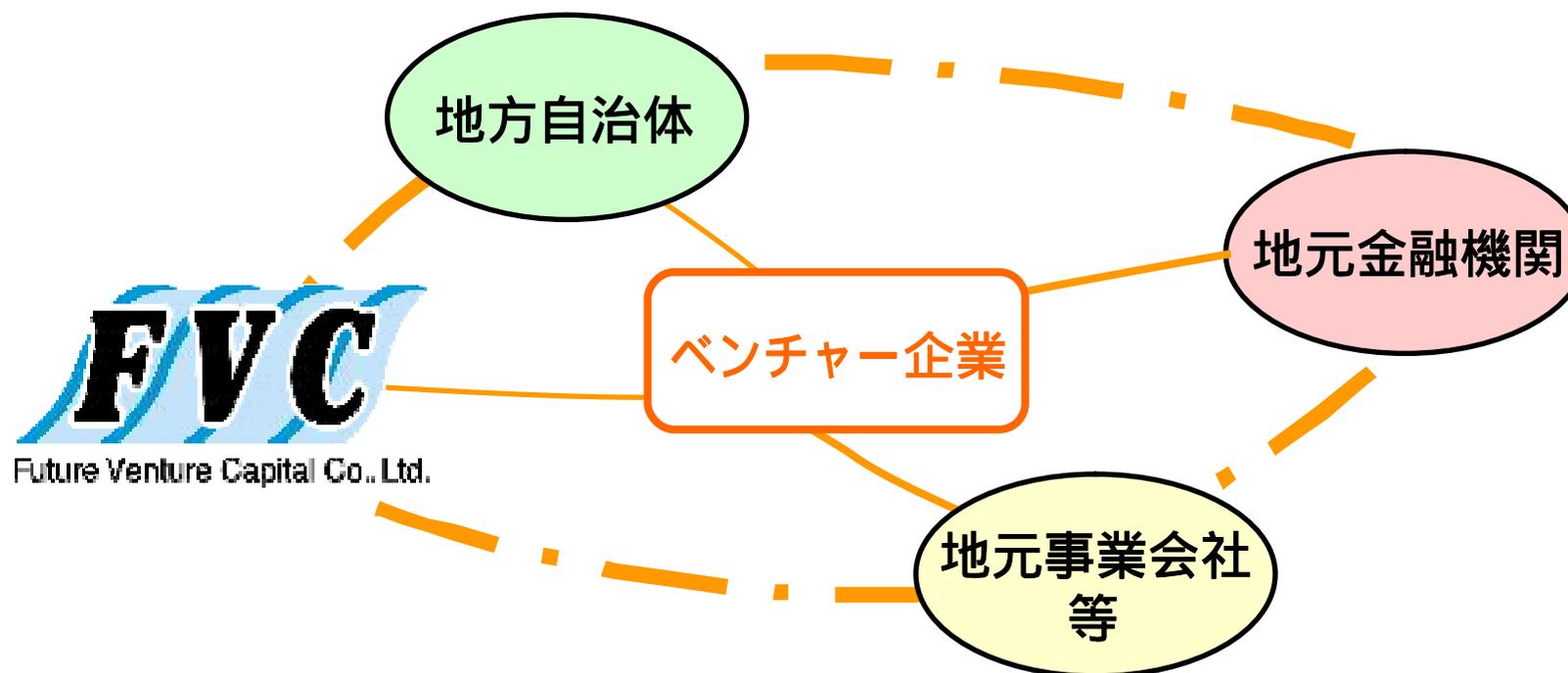
★
投資拠点


投資拠点がカバーする投資エリア



地方での案件発掘体制

独立系・・・グループによる「しがらみ」が存在しない。
その地域の特性に合ったベストパートナーと連携可能



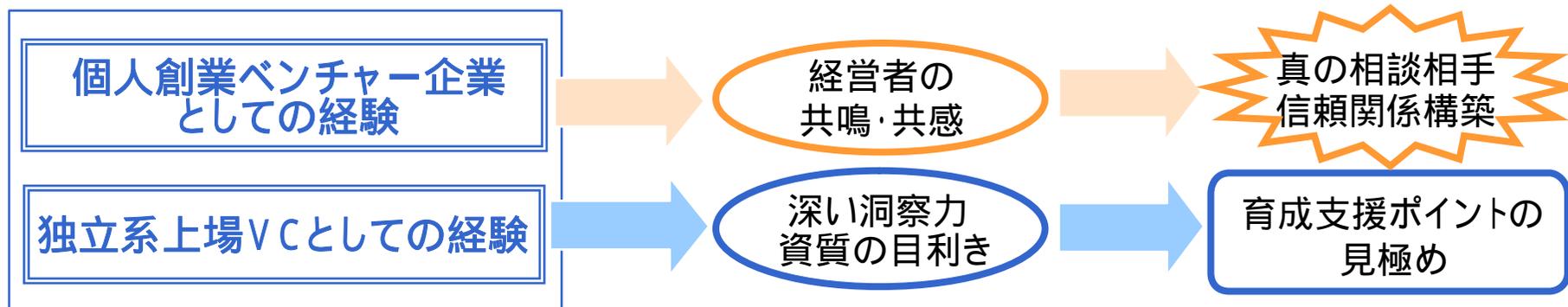
地域の経済を主導するプレイヤーと連携し、
強固なベンチャー支援ネットワークを構築

FVCの目利き・ハンズオンの特徴

投資育成基本方針

信頼関係の構築

積極的な経営関与



リスクリターンに見合った投資判断
適切なハンズオン

アーリーステージ企業への積極的な投資が可能

第8期(2006年3月期)決算

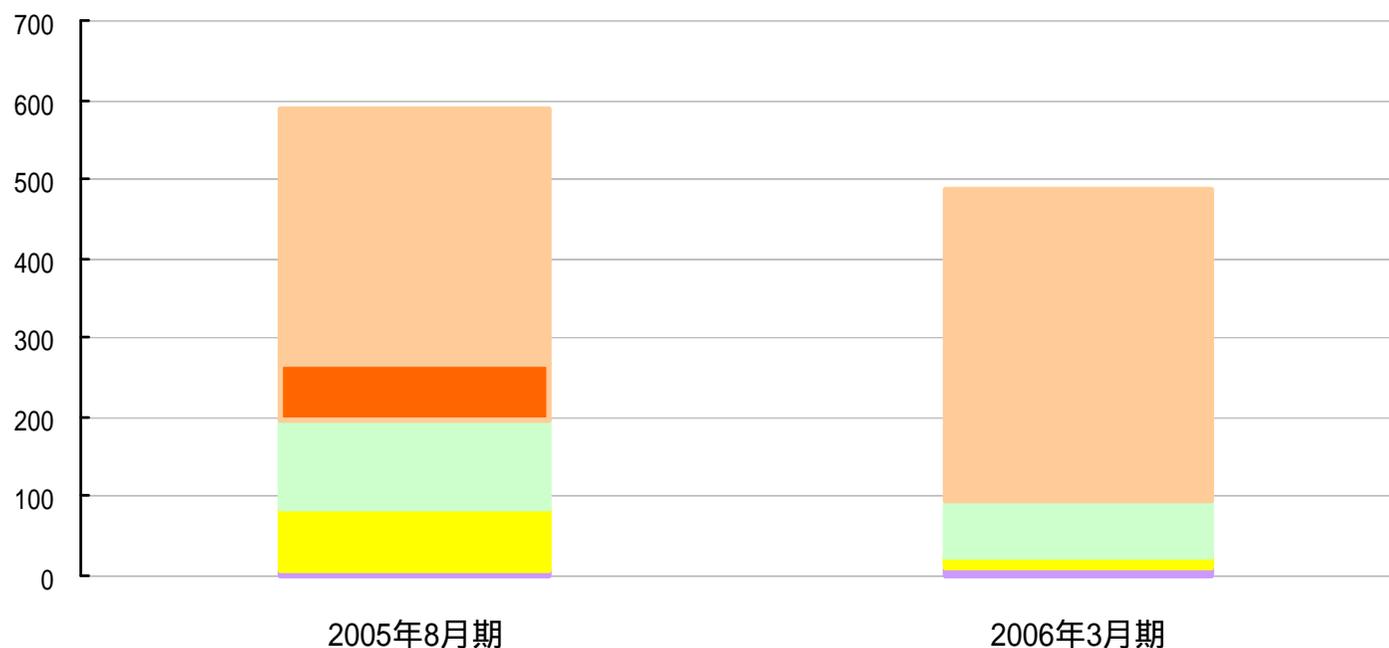
	第7期 2005年8月期 2005/9 ~ 2006/3	第8期 2006年3月期 2005/9 ~ 2006/3【7ヶ月】
売上高	592百万円	488百万円
営業利益	73百万円	53百万円
経常利益	90百万円	35百万円
当期純利益	101百万円	32百万円
株主資本	1,484百万円	2,514百万円
総資本	2,312百万円	3,237百万円
株主資本比率	64.2%	77.7%

2. 第8期(2006年3月期)活動報告

売上高の内訳・前年比較



(単位:百万円)



(単位:百万円)

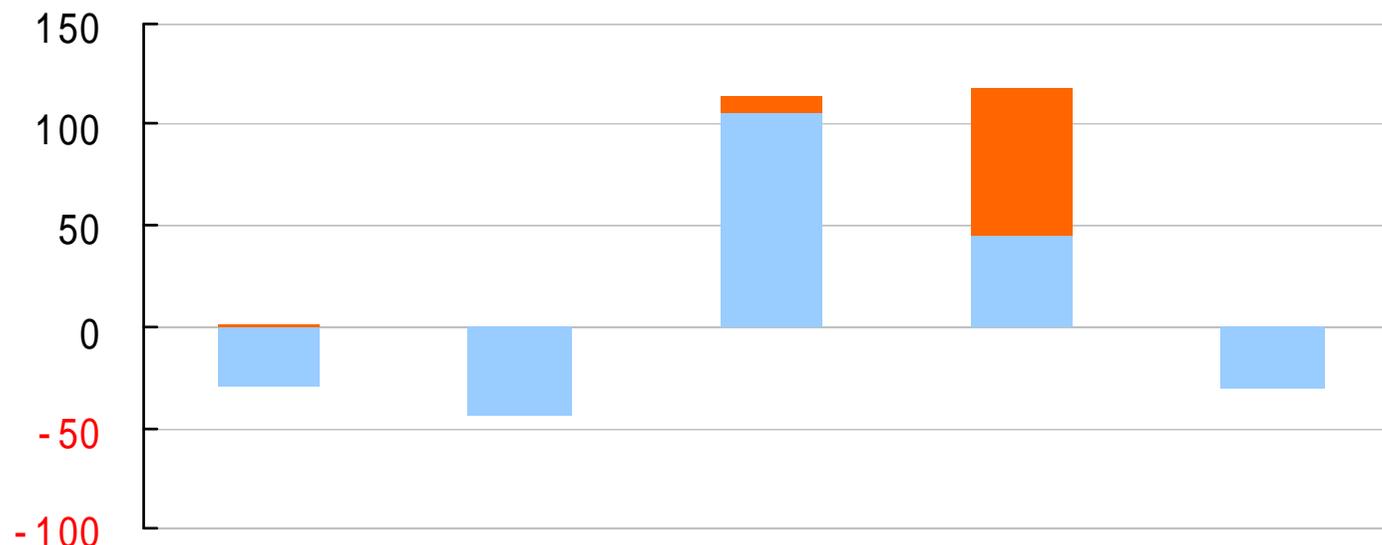
	2005年8月期		2006年3月期	
投資事業組合等管理業務	395	66%	391	80%
うち成功報酬	(72)	12%	(0)	0%
コンサルティング業務	111	18%	73	14%
営業投資有価証券売上高	77	13%	12	2%
その他	7	1%	11	2%
計	592	100.0%	488	100.0%

2. 第8期(2006年3月期)活動報告

キャピタルゲイン/ロスと成功報酬



(単位:百万円)



(単位:百万円)

	2002年8月期	2003年8月期	2004年8月期	2005年8月期	2006年3月期
成功報酬	1	0	7	72	0
営業投資有価証券売上高	24	33	177	77	12
営業投資有価証券売上原価	53	78	70	32	43
キャピタルゲイン/ロス	29	45	107	45	31

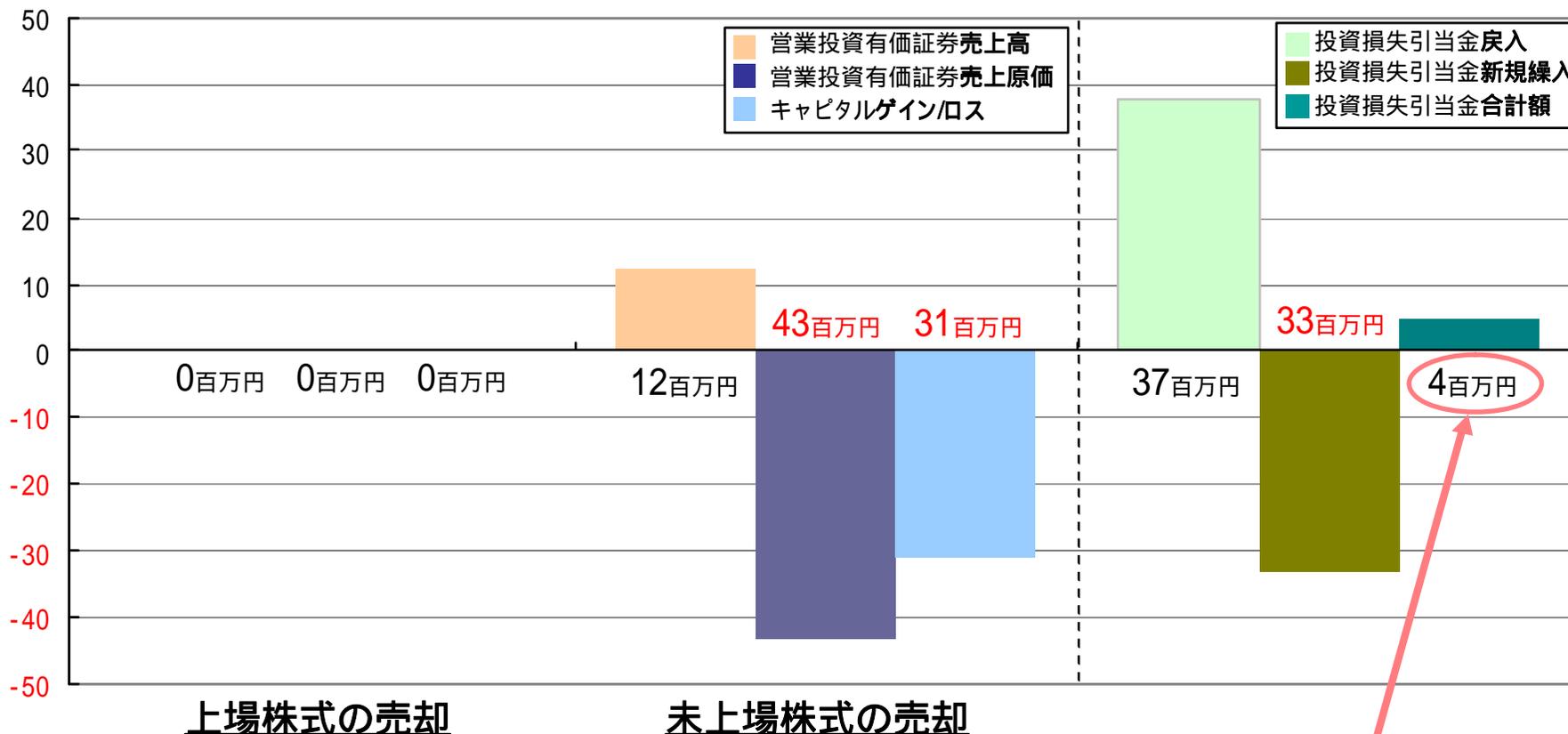
キャピタルゲイン/ロス = 営業投資有価証券売上高 - 営業投資有価証券売上原価

キャピタルゲイン/ロス・投資損失引当金の詳細



【キャピタルゲイン/ロスの詳細】

【投資損失引当金の詳細】



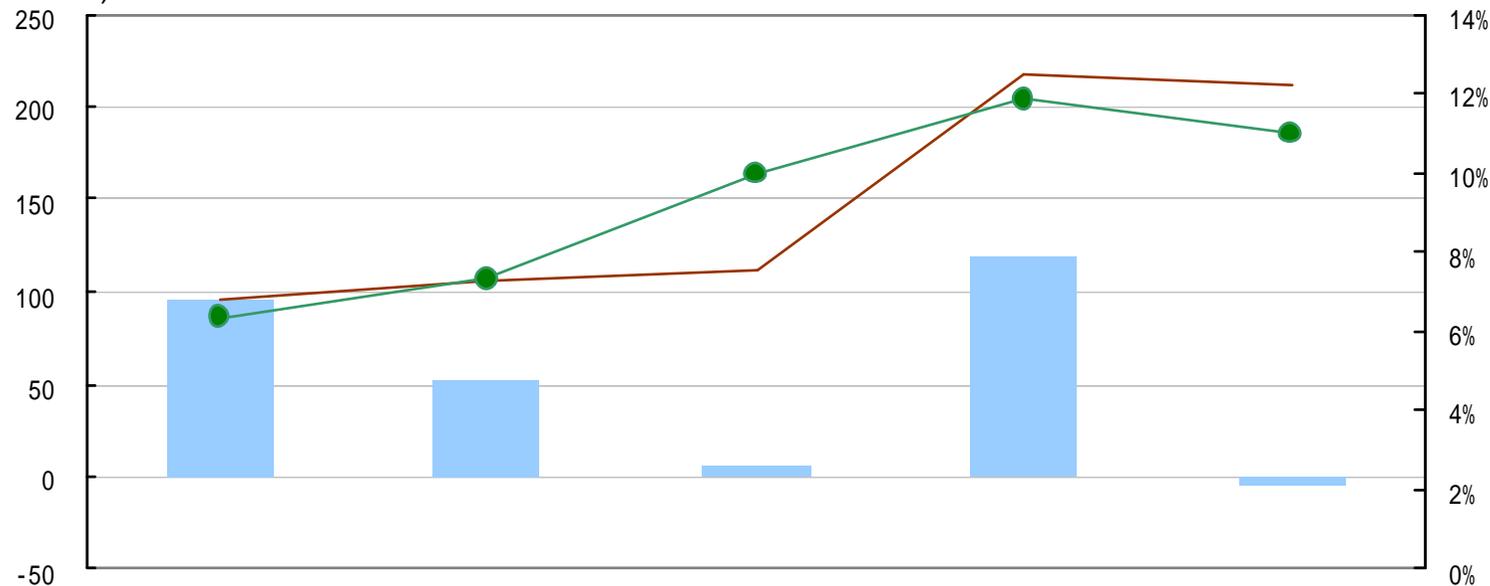
損益計算書上に
「営業損失引当金繰入額(戻入額)」として計上

2. 第8期(2006年3月期)活動報告

投資損失引当金の推移



(単位:百万円)



(単位:百万円)

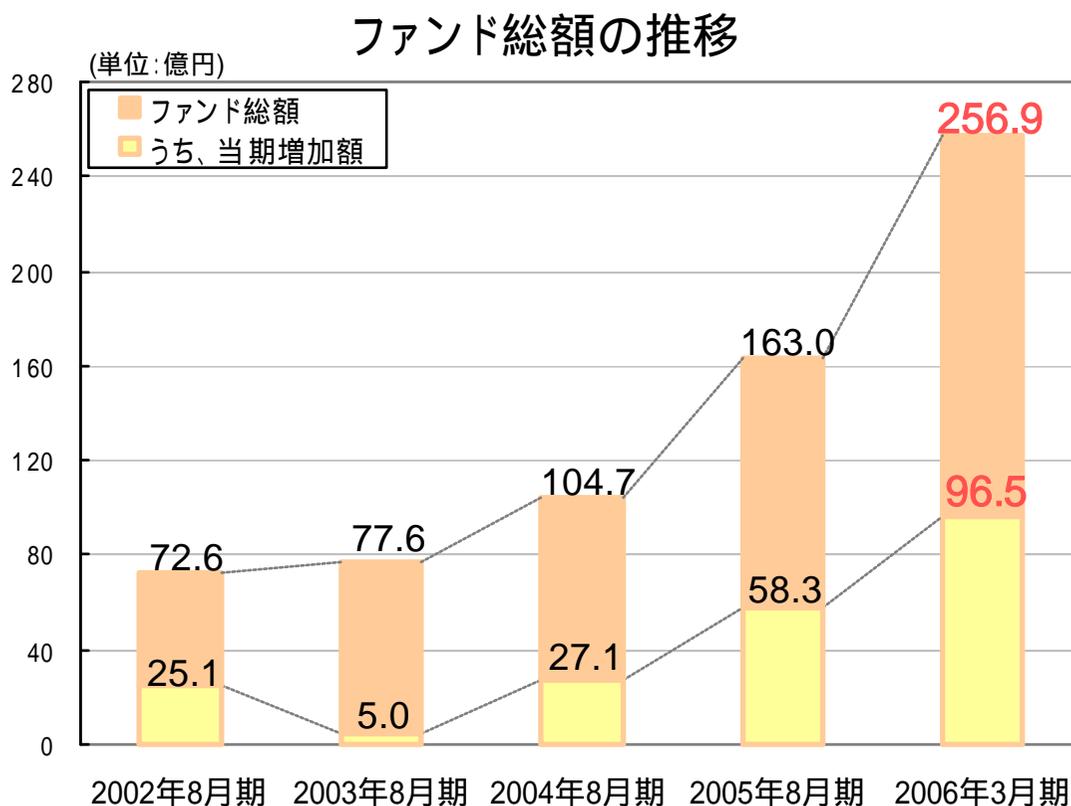
	2002年8月期	2003年8月期	2004年8月期	2005年8月期	2006年3月期
営業投資有価証券	1,505	1,454	1,126	1,831	1,927
引当金繰入額	95	51	6	119	4
引当金残高	95	105	112	217	212
営業投資有価証券に対する引当率	6.4%	7.2%	9.9%	11.9%	11.0%

2005年8月期より、営業投資有価証券と営業投資有価証券に対する引当率には営業出資金を含んでいます。

ファンド総額の推移

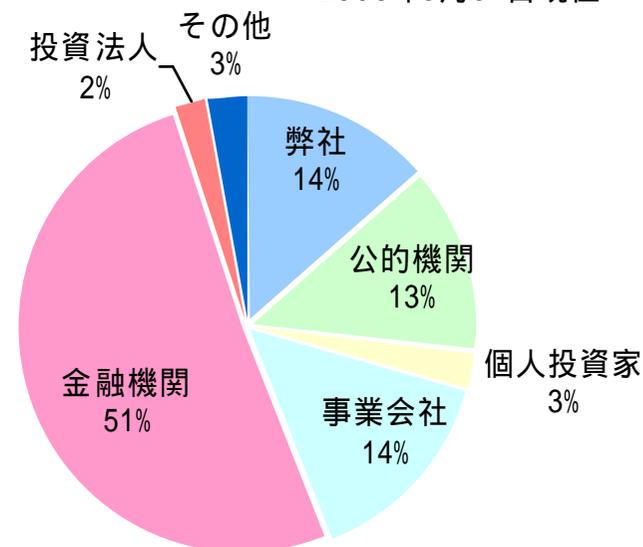


2006年3月31日現在のファンド総額 **256.9億円**



ファンド出資者構成

出資金額ベース
2006年3月31日現在



第8期に新設・増額したファンド



【新設ファンド】

2組合 13.4億円

2005年10月

チャレンジ山形産業振興投資事業有限責任組合

11.5億円

2006年 2月

いわてベンチャー育成2号投資事業有限責任組合

1.9億円

【既存ファンドの増加】

FVCグロース投資事業有限責任組合

73.0億円

滋賀ベンチャー育成ファンド投資事業有限責任組合

4.2億円

神戸ベンチャー育成投資事業有限責任組合

5.9億円

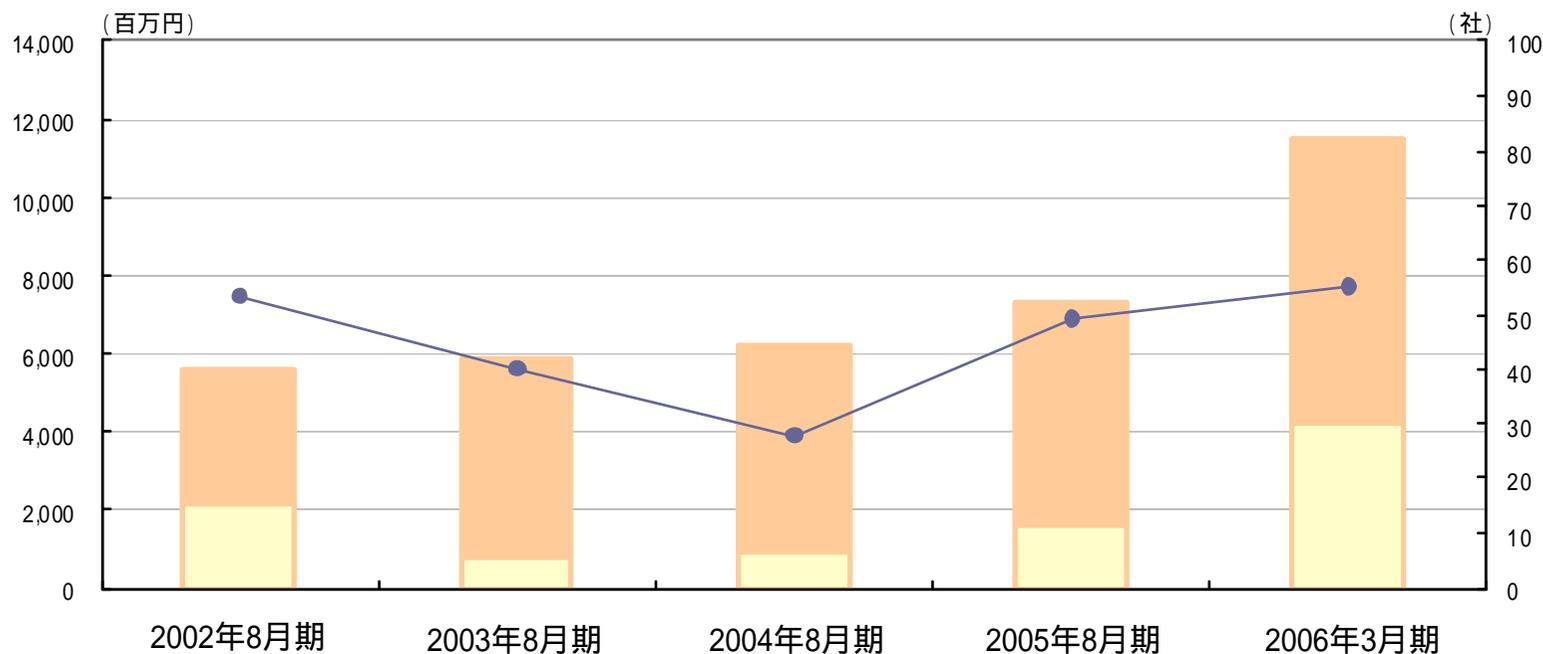
以上から、第8期に増加したファンド額は、

96.5億円

投資金額・社数の推移



投資金額の大幅な増大・・・一社当たり投資金額の増加が要因



(単位:百万円)

投資残高	5,607	5,822	6,225	7,347	11,471
うち、当期投資額	2,178	754	905	1,594	4,270
当期投資社数 [右軸]	53社	40社	28社	49社	55社
一社当たり投資金額	41.0	18.8	32.3	32.5	77.6

一社当たり投資金額 = 当期投資額 ÷ 当期投資社数

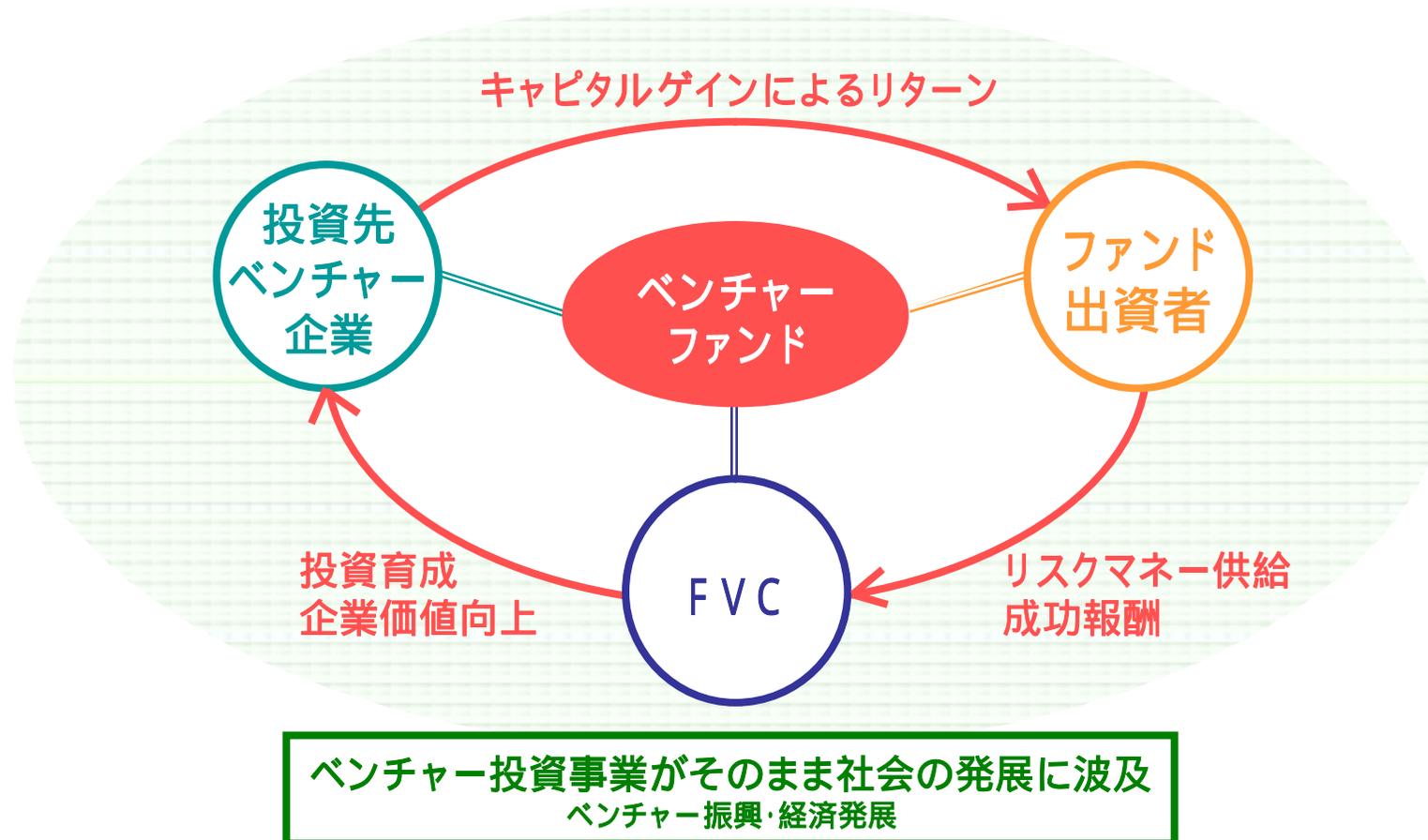
- **投資先企業のIPOによる利益の拡大**
 - ▶ ファンドの管理報酬で経費がまかなえるようになってきた
 - ▶ 投資先企業がコンスタントに株式公開する体制を整え、利益を拡大していく

- **地方展開の更なる進展**
 - ▶ 現在の事務所を強化し、
周辺地域への投資も可能なブロック拠点を作っていく
 - ▶ 現在、拠点のない地域にも積極的に展開を行う

- **投資業務拡大のためのファンド組成**
 - ▶ 新卒採用の若手が育ってきており、投資能力は充分にある
 - ▶ FVCグロースファンド(総額100億円)の後継ファンドも検討課題となる

「三方よし」を実現するサイクルでの事業推進

～ 弊社・投資先企業・ファンド出資者・社会経済すべての価値を向上させる～



「三方よし」とは、近江商人に古くから伝わる処世訓であり、「売り手」「買い手」「世間」すべてが「よし」となるような商売が結果的に成長するという意味を持っています。

【参考資料】

直近5カ年の業績推移

(単位:百万円)

	第4期 2002年8月期	第5期 2003年8月期	第6期 2004年8月期	第7期 2005年8月期	第8期 2006年3月期
売上高	409	362	535	592	488
うち投資事業組合等管理業務	213	220	227	395	391
(うち成功報酬)	1	0	7	72	0
うち営業投資有価証券売上高	24	33	177	77	12
うちコンサルティング業務	162	100	121	111	73
売上原価	372	440	354	467	291
うち営業投資有価証券売上原価 A	53	78	70	32	43
うち投資損失引当金繰入額	31 B	51	6	119	-4
販売費及び一般管理費	195	150	167	198	144
営業損益	-158	-228	13	-73	53
経常損益	-160	-224	9	-90	35
当期純損益	-227	-204	4	-101	32

営業活動によるキャッシュ・フロー	-647	-93	251	-586	-232
投資活動によるキャッシュ・フロー	-21	-3	-18	-51	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	553	163	-135	683	829
現金及び現金同等物期末残高	100	166	263	309	911

A 減損額を含めております。

B 第4期ではこのほか、「過年度投資損失引当金繰入額」64百万円を特別損失で計上しております。

直近5カ年の業績推移

(単位:百万円)

	第4期 2002年8月期	第5期 2003年8月期	第6期 2004年8月期	第7期 2005年8月期	第8期 2006年3月期
営業投資有価証券	1,505	1,454	1,126	1,831	1,927
営業出資金	60	1	105	-	-
投資損失引当金	95	105	112	217	212
負債	509	658	547	828	722
うち、間接ベンチャーキャピタル 制度を利用	205	205	304	209	149
株主資本	1,287	1,090	1,089	1,484	2,514
株主資本比率	71%	62%	66%	64%	77%
資産合計	1,797	1,748	1,636	2,312	3,237

(単位:円)

1株当たり当期純損益	-10,821	-9,296	194	-4,395	1,132
1株当たり当期株主資本	58,553	49,598	49,546	59,321	77,794

間接ベンチャーキャピタル制度

台体のベンチャー支援財団が民間ベンチャーキャピタルに投資原資を預託し、間接的にベンチャーへの投資を行う投資は新株予約権付社債で行われます。ベンチャー支援財団は預託した投資原資の7割を債務保証します。

会社概要



- 会社名 : フューチャーベンチャーキャピタル株式会社(FVC)
- 設立年月日 : 1998年9月11日
- 資本金 : 18億8,631万円
- 発行済株式総数 : 32,326株
- 株式公開市場 : 大阪証券取引所ヘラクレス(8462)
- 所在地 : 京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659番地
烏丸中央ビル8階
- 従業員数 : 48名
- 事業内容 : 未公開企業投資業務、投資事業組合の企画・運営
コンサルティング業務など